

## 北朝鮮をめぐる動きと日朝関係

平岩俊司 (関西学院大学)

### はじめに

- ・北朝鮮の核実験・・・本年2度、「水爆実験」と「核弾頭爆破実験」
- ・度重なるミサイル発射・・・ノドン、ムスダン、SLBM
- ・北朝鮮の核ミサイル能力・・・「次元の異なった脅威へ」
- ・国連安保理の対応・・・決議2270の効果→中国の対応
- ・北朝鮮問題の核心・・・米国をはじめとする国際社会→中国、中国→米国の姿勢
- ・はたして日本は・・・拉致、核、ミサイルの包括的解決、対話と圧力、国際協調

### 1. 36年ぶりの党大会の意味するもの

- ・金正恩の新ポスト・・・党委員長→真の意味での金正恩体制のスタート→脱金正日
- ・老壮青のバランス人事・・・80歳以上の人士→ある種の重し？
- ・金正恩体制・・・彼らには彼らの理屈→金正日の時代からの流れの中に位置づけている
- ・完全に安定とは言えない・・・本当に不安定か、体制の問題として交渉できない相手か？
- ・若い指導者が思いつきで？・・・一般の評価→交渉できる相手ではない→正しいのか？
- ・金正恩政権の恐怖政治のイメージ・・・軍中心の粛清、技術者には「失敗恐れるな」
- ・最高人民会議(6月29日)→先軍政治の象徴的組織である国防委員会を国務委員会に
- ・平時の体制、平時の最高指導者

### 2. 北朝鮮にとっての核ミサイル

- ・なぜ36年間党大会が開催できなかったのか？
- ・前回党大会・・・1980年、金正日後継者として登場
- ・前年の1979年、朴正熙暗殺、全斗煥政権と光州事件→北朝鮮に有利
- ・北朝鮮・・・1983年ラングーン事件、87年大韓航空機爆破事件→自らテロ国家として
- ・ソウルオリンピック成功・・・韓国優位→北朝鮮の劣勢→中ソも韓国と関係を
- ・東欧社会主義陣営の体制改革の動き・・・冷戦の終焉へ
- ・二つの事例・・・天安門事件とチャウシェク事件→政治変動の最後の局面→軍が重要
- ・金正日後継体制→当初党を中心→これを契機に軍中心に→先軍政治→危機管理体制
- ・36年ぶりの党大会の意味→危機管理体制終焉→だからこそ平時の最高指導者、党委員長

### 3. 危機的状況の解消-核ミサイル問題の行方

- ・北朝鮮にとっての危機とは？…核、ミサイル→韓国と中ソ国交→中ソの核の傘は？
- ・北朝鮮の認識…一方的にアメリカの脅威にさらされている
- ・4回目の核実験、“人工衛星打ち上げ実験”…対米打撃力の獲得？
- ・第7回党大会…核と経済の並進路線→恒久的に堅持すべき戦略的路線と位置付け
- ・核・ミサイル実験の成功強調…責任ある核保有国であり、核の先制使用はしない。
- ・核拡散防止の義務を誠実に履行し、非核化された世界実現のため努力する
- ・核兵器の小型化、多種化を高い水準で実現することで、核戦力を質的・量的ともに強化し、北朝鮮を「東方の核大国」として輝かせる（党中央委員会事業総括決定書、5月9日）
- ・国際社会…北朝鮮の核放棄→北朝鮮の姿勢は真逆
- ・北朝鮮の核ミサイル能力…まだ多くの課題、ただし、徐々に現実か、米国の警戒

### 4. 経済状況…国連決議による制裁の効果は？

- ・北朝鮮にとってのもう一つの危機…経済→社会主義友好価格の終了、天候不良
- ・経済状況の悪化→食糧不足、餓死者が出たとの報道も
- ・今回の党大会…経済的危機は脱した→多年度経済計画→国家経済発展5カ年計画
- ・核と経済の並進路線…核放棄はありえない→北朝鮮は両立できるとの立場？
- ・ただし課題を認める…「先端水準に達した分野がある一方、著しく遅れている分野」
- ・不思議なことに…韓国銀行の分析→ここ数年右肩上がり（1%程度）→国連制裁は？
- ・中国が抜け穴…中国と北朝鮮→非対称、東北三省と北朝鮮→相互依存
- ・中国の影響力…中国人も犠牲→うまく政治力に転化できない→北朝鮮も自覚→悪循環
- ・北朝鮮経済成長の謎…改革開放→ある程度成長は可能→ただしそこには限界
- ・これ以上は対外関係の調整→資本、物資、技術が不可欠→だからこそ対話路線

### おわりに-5回目の核実験と国際社会

- ・5回目の核実験…核弾頭爆破実験、「戦略弾道ロケットに装着できるように標準化、規格化された核弾頭の構造と動作特性、性能と威力を最終的に検討、確認した」「小型化、軽量化、多種化されたより打撃力の高い各種核弾頭を必要なだけ生産できるようになった」
- ・注目される中国の姿勢…「丹東鴻祥実業発展有限公司」への対応、ポーズか姿勢変化か？
- ・北朝鮮問題を巡る米中関係…協力か対立か？
- ・韓国の対応…朴槿恵大統領「金正恩の精神状態は制御不能」→中韓関係は？
- ・北朝鮮にとっての中国…ミサイル発射実験、国連制裁、経済関係、金正恩訪中は？
- ・日本の対応…包括的解決か、拉致と核・ミサイルの切り離しか？